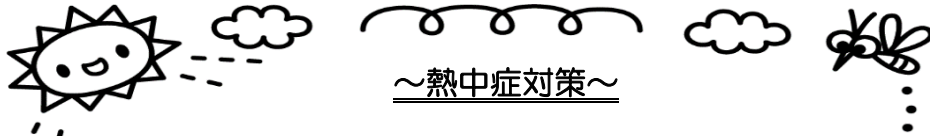


水遊びが気持ちの良い季節となりました。夏らしいものを食べたり海やプールでの水遊び等、楽しい事が沢山ありますね。



熱中症は夏の暑い時期だけでなく、気温が上がり始める時期にも危険性があります。又、子どもは体温を調節する機能が大人に比べて未発達で、上手く汗をかけません。こまめな水分補給、野外では帽子をかぶる、車内や屋内では適切なエアコンの活用を心掛け予防していきましょう。



《7月の予定》

●7月7日(火) 10:00~「七夕製作」

●7月28日(火) 10:00~
「感触遊びを楽しもう！」



令和8年 7月1日
社会福祉法人えどがわ
西小岩おひさま保育園

夏に流行する感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱（プール熱）	溶連菌
主な症状	口の中、手のひら、足の裏などに、発しんや水疱ができます。あまり高い熱は出ません。重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。	突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。	発熱、咽頭炎（のどのはれ）、結膜炎（目の充血）などの症状があらわれます。	38℃～39℃以上の発熱と強い喉の痛みが特徴で、咳や鼻水はあまり出ません。舌に赤いブツブツ、全身の発疹がでることもある。
原因ウイルス	エンテロウイルス属のウイルス（コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等）		アデノウイルス	細菌（A群溶血性レンサ球菌）
感染経路	- 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染 - 水疱の内容物や便の中のウイルスが、手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染		- 飛まつ感染 - 接触感染 感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。	- 飛沫感染 - 接触感染
治療	つらい症状をやわらげる対処療法が中心です。ワクチンや特効薬はありません。		対処療法と、眼の症状が強い場合は眼科での治療を行います。ワクチンや特効薬はありません。	抗生物質の10日間内服が治療の基本。

